

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

事業報告書



冬のエコツアー「楽天の森で山のあそびをたのしもう!!」での木のスプーンづくりの様子
(H31.2.2)

平成30年度

目 次

1	あいさつ	・・・1
2	全体事業報告	
(1)	平成30年度かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議総会	・・・2
(2)	わいわいカーニバル 2018	・・・2
(3)	藤前干潟清掃活動と干潟の観察会	・・・2
(4)	庄内川アダプトと水生生物調査	・・・3
(5)	消費生活展 2018	・・・3
(6)	ホテルの観察会	・・・3
(7)	中部大学「サマーフェスティバル」	・・・4
(8)	エコライフセミナー	・・・4
(9)	市民環境フォーラム	・・・4
(10)	答志島奈佐の浜海岸清掃	・・・5
(11)	春日井まつり「エコワールド」	・・・5
(12)	東春信用金庫共催「とうしゅん エコ・ウォーク2018」	・・・5
(13)	中部大学「お～い、温活」	・・・6
(14)	東邦ガス共催「親子で楽しくエコ・クッキング」	・・・6
(15)	冬のエコツアー「楽天の森で山の遊びをたのしもう!!」	・・・6
(16)	「河川の清掃活動と新聞紙を使った凧づくり」	・・・7
3	学習広報活動等報告	
(1)	学習研究グループ・広報グループ	・・・7
(2)	市環境基本計画「環境まちづくり参加人数」との関係	・・・7
(3)	会員数の推移	・・・7
4	市民団体活動報告	
(1)	かすがい里山自然楽校	・・・8
(2)	春日井里山保存会	・・・8
(3)	かすがいシェアリングネイチャーの会	・・・8
(4)	春日井スカウト団協議会	・・・8
(5)	かすがい東部丘陵自然観察会	・・・9
(6)	環境学習ネットワークグループ	・・・9
(7)	たかくらこどもエコクラブ	・・・9
(8)	中部大学発光生物学研究室	・・・9
(9)	特定非営利活動法人かすがいネイチャー	・・・10
(10)	特定非営利活動法人ザ・希望	・・・10
(11)	みろく山麓の自然を守る会	・・・10
(12)	中部E S D拠点推進協議会	・・・10
(13)	高蔵寺ニュータウン生き生き楽農会	・・・10
(14)	名古屋工業大学ソーラーカー部	・・・10
(15)	春日井自然友の会	・・・10
5	事業者団体紹介	
(1)	大和エネルギー株式会社	・・・11
(2)	パナソニックエコシステムズ株式会社	・・・11
(3)	王子製紙株式会社 春日井工場	・・・11
(4)	日本ガイシ株式会社 小牧事業所	・・・11
(5)	東邦ガス株式会社 春日井営業所	・・・11
(6)	木野瀬印刷株式会社	・・・11
6	その他	
(1)	東春信用金庫からの寄付金贈呈式	・・・11

1 あいさつ

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議は、市民、事業者、市の三者協働により環境まちづくりを推進する組織として平成14年12月に設立しました。

設立後、全体事業や会議の運営については毎月開催する運営会議において協議を重ね、市が主催する環境に関するイベントへ参加・共催するとともに、当会議としての自主イベントを開催し、設立16周年を迎えました。

当会議では、次の4つの活動方針のもと、平成30年度の取組みを進めてまいりました。

- ① **会員の拡充**・・・平成30年度の新規市民団体会員として、NPO法人ザ・希望様、たかくらエコクラブ様が入会し、12団体となりました。今後も、引き続き、活動の充実、活性化に向け、様々な機会を捉えて入会を働きかけ、会員の拡充を図ります。
- ② **事業者との連携**・・・大和エネルフ様、パナソニックエコシステムズ様、王子製紙様春日井工場様、日本ガイシ様小牧事業所様に加え、新たに東邦ガス様春日井営業所様、木野瀬印刷株式会社様にご入会いただきました。今後も事業者の皆様と積極的に連携し、各種事業を展開してまいります。
- ③ **若い世代への働きかけ**・・・環境学習・環境活動を積極的に行う子どもとその保護者をエコファミリーとして認定しており、平成30年度末において54組182名の皆様に、家族ぐるみで環境活動に参加いただいております。また、中部大学の学生さんとの連携を深め、協働して取組みを進めています。今後も若い世代と連携し、各種事業を展開してまいります。
- ④ **環境教育の充実**・・・平成30年度は新規事業として、藤前干潟において清掃活動及び干潟の観察会、少年自然の家においてホテルの観察会を行いました。今後も次世代を担う子ども向けに環境教育を行い、環境まちづくりの人材育成を図ってまいります。

本報告書は、平成30年度の活動概要を取りまとめたものです。

ご高覧いただき、多くの市民、市民団体、事業者の皆さまの当会議へのご参加、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

PS会議のホームページが新しくなりました!!

PS会議のホームページが春日井市のホームページの中に新しくできました。

アドレス (<http://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/keihatsu/1012748/1012731.html>) 又は、ホーム画面「サイト内検索」に「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議」と入力してください。

サイト内検索

よくある質問検索

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議



2 全体事業報告

(1) 平成30年度 かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議総会

とき：平成30年4月28日（土）

場所：総合福祉センター 小ホール

参加者：42名（H28 75名、H29 50名）

内容：平成29年度事業報告及び収支決算報告、役員改選、平成30年度活動方針、事業計画及び予算の全議案が承認されました。続いて第2部としてNPO法人四日市ウミガメ保存会の下田菜生氏による「48歳から23歳へ 世代交代と24歳の挑戦」と題した実体験に基づいた貴重な講演、並びに「中部大学発光生物学研究室」が市民団体活動発表を行いました。



(2) わいわいカーニバル2018

とき：平成30年5月13日（日）

場所：落合公園

参加者：100名（H28 600名、H29 800名）

内容：5月10日～16日の「愛鳥週間」にあわせ、鶏（にわとり）と川蟬（かわせみ）の形をした木に色を塗ってもらい、毛糸を使いペンダントにする工作を行いました。悪天候のため1時間程度しか実施できませんでしたが、子どもたちは真剣なまなざしで色を塗り、カラフルな鳥がたくさんできました。



(3) 藤前干潟清掃活動と干潟の観察会

とき：平成30年5月26日（土）

場所：藤前干潟

参加者：29名

内容：「春の藤前干潟クリーン大作戦2018」に参加しました。ペットボトルや空き缶など回収しきれないほどの大量のごみが見つかりました。全体では1,661名が参加し、1,704袋のごみを回収しました。その後は干潟に入り、現地ガイドの案内のもと、トビハゼやチゴガニなど干潟にしか生息しない多様な生き物とふれあいました。



(4) 庄内川アダプトと水生生物調査

とき：平成 30 年 6 月 3 日（日）

場所：庄内川右岸河川敷（高蔵寺グラウンド）

参加者：56 名

内容：庄内川河川敷の清掃活動では、燃えるごみを 5 袋（紙くず等）、燃えないごみを 1 袋（空缶、ペットボトル等）回収しました。また、環境学習活動として水生生物調査と水質検査を行い、市民の身近な庄内川にはカワゲラやトビケラ類などが生息し、水質調査の結果は「ややきれいな水」であることを学習しました。



(5) 消費生活展 2018

とき：平成 30 年 6 月 8 日（金）～ 9 日（土）

場所：市役所 1 階 市民ホール

内容：生活に役立つ情報の発表・展示があり、全 28 団体が参加しました。PS 会議はパネル展示と PS 通信で日頃の活動を PR しました。クイズラリーでは多くの親子にご参加いただきました。PS 会議のクイズは「COOL CHOICE（=賢い選択）」を題材とし、親子で「地球温暖化対策のためにできることは何か」を考えるきっかけ作りを行いました。



(6) ホタルの観察会

とき：平成 30 年 6 月 9 日（土）

場所：少年自然の家

参加者：56 名

内容：少年自然の家のビオトープにおいて、新規イベント「ホタルの観察会」を行いました。中部大学発光生物学研究室 大場裕一准教授より、東日本と西日本でホタルの点滅の時間が違うこと、夜間に光るホタルが珍しいことなど今まで知らなかったホタルの生態について、講義をいただいた後、春日井里山保存会の三宅勝次氏から里山保存活動の大切さについて講義をいただきました。その後、ビオトープに行き、水生生物とホタルの観察を行い、ホタルを発見した参加者からは大きな歓声が上がりました。



(7) 中部大学「サマーフェスティバル」

とき：平成 30 年 7 月 11 日（水）

場所：中部大学（不言実行館前）

参加者：317 名（H28 354 名、H29 290 名）

内容：蒸し暑い天気の中の開催でした。当日は 317 名の学生（内ボランティア 45 名）が参加し、省エネの呼びかけやかき氷の配布を行い、冷房に頼らない涼み方を呼びかけました。PS 会議からは二宮、井出、水野、綿谷、堀、内藤の 6 名が参加し、学生と共に省エネ行動の実践を呼びかけました。



(8) エコライフセミナー

とき：平成 30 年 8 月 1 日（水）

場所：文化フォーラム交流アトリウム、市民広場

参加者：63 名（H28 91 名、H29 117 名）

内容：環境にやさしいライフスタイルへの転換について、学び、考え、実践するきっかけづくりとして、エコライフセミナーが市主催により文化フォーラムで開催されました。当日は、「COOL CHOICE (=賢い選択)」に関する動画を鑑賞した後、PS 会議の会員が講師となり自然の素材である竹で水鉄砲とコップ作りを行いました。その後、「道風くん」と多治見市の「うながっぱ」とともに打ち水を行いました。



(9) 市民環境フォーラム

とき：平成 30 年 9 月 22 日（土）

場所：東部市民センター ホール

参加者：300 名（H28 380 名、H29 385 名）

内容：幅広い市民の環境活動への取組みの推進や、環境に対する啓発を目的として、市と共催で、市民環境フォーラムを開催しました。PS 会議は、パネルの展示や参加者の受付などを行いました。フォーラムでは環境対策の推進や地域において、環境保護活動をしている個人・団体の功績をたたえる「かすがい環境賞」の表彰があり、PS 会議事業者会員である大和エネルフ株式会社様が表彰を受けました。また、環境パフォーマーの「らんま先生」を講師としてお招きし、「らんま先生の eco 実験パフォーマンス」と題した講演が行われました。パフォーマンスの最中は、多くの子どもが壇上に上がり、様々な実験に参加しました。中部大学学生ボランティアや、多治見市のゆるキャラ「うながっぱ」の参加もあり、大変盛り上がりました。



(10) 答志島奈佐の浜海岸清掃

とき：平成 30 年 10 月 14 日（日）

場所：三重県鳥羽市 答志島

参加者：250 名（H28 250 名、H29 250 名）

内容：「22 世紀奈佐の浜プロジェクト」が平成 24 年に立ち上げられ、毎年清掃活動を実施しており、PS 会議も参加しています。当日は、鳥羽市の中村市長も参加し、総勢約 250 名（PS 会議は 5 名）が清掃活動にあたりました。海岸の清掃活動では、流木や廃タイヤ、ペットボトルなど様々なごみを集めました。また、鳥羽海上保安庁によるゴミの不法投棄に関するビデオ紹介と案内、岐阜大学流域圏科学研究センターの原田准教授と四日市大学環境情報学部の千葉教授による、西日本豪雨による河川の被害と伊勢湾のゴミの漂着状況について講演が行われました。



(11) 春日井まつり「エコワールド」

とき：平成 30 年 10 月 20 日（土）～21 日（日）

場所：中央公園会場

参加者：23,636 名（H28 22,176 名、H29 中止）

内容：春日井まつりにおいて中央公園で工作や体験を通じて環境について楽しく学ぶ「エコワールド」を開催しました。市民団体、事業者、市の全 16 団体が参加し、PS 会議は間伐材を使用したバッジ作りを行いました。愛知工業大学の EV カートには長い列ができるなど、天候にも恵まれ多くの方に訪れていただきました。「エコワールド」全体でクイズラリーを実施し、全てのブースを訪れていただくよう工夫しました。



(12) 東春信用金庫共催イベント「とうしゅん エコ・ウォーク 2018」

とき：平成 30 年 11 月 18 日（日）

場所：味美駅から二子山公園

参加者：70 名（H28 67 名、H29 60 名）

内容：日頃から PS 会議の活動に多大なるご支援をいただいている東春信用金庫様の職員と、その家族を含めご参加をいただき清掃活動を行うもので、今回で 6 回目を迎えました。

活動中、地域の方から感謝や励ましのお言葉を頂戴し、大変有意義な活動となりました。



(13) 中部大学「お〜い、温活」

とき：平成 30 年 12 月 12 日（水）

場所：中部大学

参加者 182 名（H29 127 名）

内容：夏の「サマーフェスティバル」に引き続き、中部大学ボランティア・NPO センターの主催する「お〜い、温活」に参加しました。暖房を使用する機会が増える季節に、省エネルギーについて呼びかけを行いました。PS 会議からは二宮、井出、水野、梶田の 4 名が参加し、省エネ行動を勧めるパネルを持ち、学生達に積極的に呼びかけを行いました。



(14) 東邦ガス共催「親子で楽しくエコ・クッキング」

とき：平成 30 年 12 月 26 日（水）

場所：東邦ガスクッキングサロン春日井

参加者：20 名（H28 24 名、H29 21 名）

内容：事業者会員である東邦ガス春日井営業所様にご協力をいただき、環境のことを考えた「買い物・料理・片付け」を実践する『エコ・クッキング』を開催しました。生ごみの減量につながる捨て方や、省エネにつながる調理方法などを学びました。参加者からは家庭でも実践してみたいとお話をいただきました。



(15) 冬のエコツアー「楽天の森で山の遊びをたのしもう!!」

とき：平成 31 年 2 月 2 日（土）

場所：みのかも健康の森（岐阜県美濃加茂市）

参加者：48 名（H28 30 名、H29 40 名）

内容：岐阜県美濃加茂市にある「みのかも健康の森」へ行きました。

豊かな森を育むための「間伐」について学び、実際にノコギリを使って間伐を体験させていただきました。また、子ども達は、森の中に落ちている木の枝やつるなどを使い様々な遊びを考えながら、自然を満喫していました。

そのほか、間伐材を使って「木のスプーン」を作ったり、「しいたけの菌打ち体験」を行うなど、一日を通じて自然の恵みを学び、感じる事ができる貴重な機会となりました。



(10) 春のイベント「河川の清掃活動と新聞紙を使った凧づくり」

とき：平成 31 年 3 月 23 日（土）

場所：熊野グラウンド

参加者：30 名（H28 28 名、H29 28 名）

内容：庄内川の河川敷（熊野グラウンド）にて清掃活動を実施しました。空き缶やペットボトル等のプラスチック容器など 45ℓのごみ袋で 3 袋分のごみを回収しました。その後、新聞紙と竹ひごを使い凧をつくり、身近なもので簡単に出来る遊びを楽しみました。



3 学習広報活動等報告

(1) 学習研究グループ・広報グループ

ア 学習研究グループ

環境学習に関する情報を収集し、講演会等パートナーシップ会議の自主イベントなどの企画運営を行いました。

イ 広報グループ

パートナーシップ会議の活動を広く情報発信するための広報活動を行いました。

PS 通信の発行（夏・秋・冬・春号の 4 回発行）

各種イベントにおける活動写真の撮影

フェイスブックページによる環境啓発イベントの周知と報告 (<https://www.facebook.com/かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議-1201283229988707/>)

(2) 市環境基本計画「環境まちづくり参加人数」との関係

（単位：人）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
環境まちづくり参加人数	35,630	45,179	49,579	53,016	30,402
PS 会議関連※ ¹	9,636	18,372	19,733	23,915	1,893※ ²

※¹PS 会議関連・・・自主事業や共催事業の参加延べ人数

※²春日井まつり「エコワールド」が悪天候のため中止（平成 28 年度は 22,176 人が参加）

(3) 会員数の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
市民会員（人）	33	35	40	50	35
市民団体会員（団体）	11	12	11	10	12
事業者会員（社）	3	3	3	4	6

※各年度末の数

4 市民団体活動報告

(1) かすがい里山自然楽校

活動名：かすがい里山憩いの森づくりプロジェクト

内容：潮見坂平和公園の希少種植物の生息地保全整備や自然体験、観察会などの環境学習のためのフィールド整備を行いました。また、「市民憩いの森プロジェクト」推進のための公園整備やあいち森と緑づくり環境学習・推進事業交付金支援事業としての公園整備を行いました。また、なごや環境大学の認定教育講座を開催しました。



(2) 春日井里山保存会

活動名：自然環境保護・保全活動

内容：ビオトープ内にある自然環境保全啓発掲示板に周辺の自然に係る観察記録・動植物（ビオトープ及び周辺の昆虫、魚類、水生昆虫、野鳥…等）の写真等を掲出し、自然観察会参加者及び散策者等の自然環境学習に寄与し、ビオトープの補修作業を行い施設管理・保全活動を実施しました。



(3) かすがいシェアリングネイチャーの会

活動名：シェアリングネイチャー広め隊

内容：公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会の基本理念に沿って、広く啓発、啓蒙活動を実施しました。企画事業を始め市内小学校での野外活動やイベントにおいて指導などを行いました。ネイチャーゲームを通じて自然を大切にし、四季を感じ、生き物の多様性を学びました。



(4) 春日井スカウト団協議会

活動名：第13回 ちびっこ冒険レンジャー大集合

内容：落合公園で開催された「ちびっこ冒険レンジャー大集合」において、ゲームをしながら、生活水に関するクイズや豆知識で、暮らしの中にある水に関心を持ち、節水する方法を学びました。



(5) かすがい東部丘陵自然観察会

活動名：アゲハチョウ飼育セットの市内小学校への無償提供活動

内容：生き物への関心と生物多様性の大切さなどを学んでもらえるきっかけづくりとして、アゲハチョウ飼育セットを市内小学校へ無償提供するため、食草（アゲハソウ）の生育管理、増殖を実施しました。



(6) 環境学習ネットワークグループ

活動名：地域子供会及び小学校の環境学習支援

内容：高座小学校や岩成台小学校4年生の校区自然探検を支援するとともに、高座小学校・岩成台小学校・篠原小学校5年生の野外学習をサポートしました。また、自主活動として「ギフチョウのすめる里山環境づくり」活動を継続しています。



(7) たかくらこどもエコクラブ

活動名：環境教育

内容：高座小学校内にて環境学習と自然遊び、エコ工作、庄内川の水質調査とガサガサ体験、少年自然の家でサマーキャンプと自然観察や県内の施設でエコに関する内容を見学など様々な環境学習及び体験を行いました。



(8) 中部大学発光生物学研究室

活動名：「光るお絵描きプログラム」のための教材開発と実践

内容：市販品の冷凍・水洗いされていないイカや深海の生物などから発光バクテリアを取り出し、寒天培地にて培養を行う。培養した発光バクテリアを使用し、それを「光る絵の具」として見立て、光る絵を描くという環境教育プログラムの開発を行いました。



(9) 特定非営利活動法人かすがいネイチャー

活動名：高森山に棲むニホンリスの調査・保全活動
内容：高森山にすむニホンリスを調査・保全するため、毎月ニホンリスへの給餌活動や高森山のくるみ苗の植樹や周辺の下草刈りを行い、生態状況を把握し会議を開催しました。



(10) 特定非営利活動法人ザ・希望

活動名：障がい者・高齢者等によるさつまいもの栽培
内容：さつまいもの蔓を植え付けるため耕運機による畑の浄化やさつまいもの蔓の植え付けを下原町の玉雲寺の境内の畑にて実施しました。障がい者・高齢者による草刈り体験を経て、収穫の際は地域の子ども達に参加し、芋ほりを通じて自然とふれあいました。



(11) みろく山麓の自然を守る会

築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行っている。

(12) 中部ESD拠点推進協議会

中部大学を中心とし、愛知県で開催されたESD（持続可能な開発のための教育）の勉強会などを行っている。

(13) 高蔵寺ニュータウン生き生き楽農会（平成31年度からの加入）

玉野の遊休地で安心安全な有機野菜づくりや地域と連携し自然環境保全のための清掃活動を行っている。

(14) 名古屋工業大学ソーラーカー部（平成31年度からの加入）

ソーラーカーの開発・製作を通じて省エネや次世代エネルギーの普及に取り組んでいる。なお、平成30年度の春日井まつり「エコワールド」において、手作りのソーラーカーの展示、ソーラーラジコンのレースを開催することで、自然エネルギー利用の啓発活動を行った。

(15) 春日井自然友の会（平成31年度からの加入）

自然を愛好し、探求し、保護することを活動目的として自然観察会・自然調査・野草園などの整備と管理を行っている。

5 事業者団体紹介

(1) 大和エネルギー株式会社

東海4県唯一のリサイクル技術で、廃棄物から未来のエネルギーと資源をつくります。

(2) パナソニックエコシステムズ株式会社

空気・水の環境事業で暮らしを支え、快適で永く健やかに過ごせる社会の実現を目指しています。

(3) 王子製紙株式会社 春日井工場

「王子グループ環境憲章」の基本理念に基づき、すべての従業員が誇りと責任を持って、環境と調和した生産活動に取り組めます。

(4) 日本ガイシ株式会社 小牧事業所

「より良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する。」を企業理念に掲げ、社会の持続可能な発展に貢献していきます。

(5) 東邦ガス株式会社 春日井営業所

クリーンなエネルギーの供給を柱として、企業活動のあらゆる場面を通じて、環境調和型社会の実現に貢献します。

(6) 木野瀬印刷株式会社

環境に対する取り組みを促進し、従業員一人一人の意識を高めることによって環境への貢献を心懸けています。

6 その他

(1) 東春信用金庫からの寄付金贈呈式

とき：平成30年6月4日（月）

場所：東春信用金庫 本部

内容：東春信用金庫から、本会議の環境保全活動に対し、「とうしゅんエコ応援積金」寄付金として10万円が贈呈されました。

